

「未来を創造し、社会に貢献する人材の育成」

平成30年度 柳津町立会津柳津学園中学校

# 学校だより

平成31年1月11日(金)発行 第 36 号 発行責任者:高橋 弘悦

## 男衆勇壮「七日堂裸詣り」

荘厳な鐘の音がピンと張り詰めた空気を振るわせ、「オオオー」という声が境内下から響く。七日堂裸まいりが今、始まる。

吐く息までも凍るような寒さの中、寺への階段を息を荒げた男たちが駆け上がってくる、本堂前の手水屋で水をかぶり身体を清める男たち、水をかけ合う姿は、まるでこの祭りを楽しみに待ち望んでいた子供がはしゃいでいるように皆が笑顔だ。

身体を清め、続々と本堂になだれ込む男たち、熱気と体から立ち上る湯気が堂内を満たし、掛け声が飛び交う。

下帯姿の男たちは競うように綱をとり、上へ上へとよじ登る。先に上ったものが次に登る者を助け、下で待つ者は声援を送り、一人また一人とよじ登っていく。男たちも若い者から登り、熟練者という感じの男たちは声をからし、肩を貸しながら若い者を上へと押し上げる。登る男たちに皆が声援を送り、会場が一つになる、まるで堂内にいる全ての人が男たちを押し上げるように思えた。

奇祭と言われているが、人への思いやりを感じられる、ほっと暖かくなる祭りだ。

## 会津柳津学園中生も参加

○…会津柳津学園中の生徒も地元の伝統を受け継ぐと参加した。教員や保護者と一緒に下帯姿になり、高校合格や部活動での活躍などを祈願した。



会津柳津学園中の生徒

例年よりも雪が少ないとはいえ、氷点下の気温となった7日、恒例の伝統行事七日堂裸詣りが行われ、本校から15名の生徒と2名の教員、保護者が参加し、行事を盛り上げました。

一番乗りを目指した生徒たちですが、今年は出発規制が厳格に行われ、旅館待機の参加者は20:30スタートを余儀なくされました。つきみヶ丘町民センターを割り当てられた本校生徒は、他の旅館と比べてやや不利と思われましたが、若さで石段を一気に駆け上り、次々と鰐口登りに成功していました。御利益があるものと思います。

## 女子はおもてなしで貢献

残念ながら鰐口登りに参加できない女子も、ホットインやないづで、こづゆやお汁粉、甘酒の無料提供で観光客をもてなしてくれました。

今年は平日となってしまったため、例年より若干観光客も少ないとのことでしたが、生徒の呼びかけに訪れる方も多数おられ、会津柳津学園中生らしい笑顔振りまいていました。



1 / 9 付け 福島民友記事より

## 受験が本格化します！

9日には、私立の推薦選抜が行われ、17日からは県立高校のI期選抜の出願が受け付けられます。いよいよ受験シーズン到来です。3年生にとってはつらい時期ですが、プレッシャーに押しつぶされることなく、跳ね返すぐらいの意気込みで頑張ってくださいと思います。

1, 2年生は9日に冬休み中の学習状況を確かめるための「冬休み明けテスト」が行われました。3年生の姿を見て、1, 2年生も真剣に問題に向き合っていました。よくいわれるように、受験は団体戦です。学校全体で学習に対する雰囲気盛り上げ、3年生のがんばりを後押ししたいものです。

なお、県立高校については現行の制度での入試は最後となり、次年度からは、I期II期が統合され、前期試験、後期試験での実施となります。1, 2年生は、そのことをしっかり理解し、次年度に備えて欲しいと思います。

